

付録

ポスター発表のポイント（理系向け）

1. ポスター発表とは

ポスター発表とは、研究の概要をまとめた大判のポスターの前で行うプレゼンテーションの一形式です。本学の理学部では、物理学科の卒業研究中間発表会において、この形式を採用しています。また、学会ではポスター発表のセッションがあり、大学院生が発表を行うケースも珍しくありません。



2. ポスター発表の特性をふまえた準備をしよう

ポスター発表でも、通常のプレゼンテーションと同様に、①発表の目的を明確に示す、②序論と結論が対応している、③本論の論理展開を明確にする、④根拠を示す、⑤結論でまとめ・主張を明確に示す、といった点が求められます。

ただし、「発表の形式」「聴き方」や「コミュニケーション形態」などは、下の表のように異なります。これらの違いをふまえて準備を行いましょよう。

● 通常のプレゼンテーションとの相違点

	ポスター発表	通常のプレゼンテーション
1. 発表の形式	ひとつの会場内で、同時に多数の発表を行う	ひとつの会場で、一人が発表を行う
2. 聴き方	会場内を移動し、興味のある発表を選んで聴く	着席して一つの発表を聴く
3. コミュニケーション形態	双方向(対話が中心)	一方向(発表)+双方向(質疑応答)
	発表者と聴き手が、対話(説明や意見交換を含む)を行う	聴衆に対して発表を行った後、質疑応答を行う
4. 特色	聴き手(少人数)の求めに応じた対応が可能なので、随時質問に答えたり、興味関心がある点に絞って詳しく説明したりすることができる	一度に多数の人に伝えることができる

● ポスター発表準備のポイント

1. ポスター

離れた場所からでも関心を引き、読んだ時に分かりやすい内容であることが重要です。作成の注意点は、次ページを参照してください。

2. 口頭説明

口頭でのコミュニケーションを行う際は、短時間で簡潔に説明を行うことが重要です。そのために、以下のような準備を行いましょよう。

- ・ [概要説明] 研究の全体像と要点を短時間(1分程度)で説明できるようにする
- ・ [質疑応答] 想定される質問には、1~2分程度で的確に回答できるようにする
- ・ [補足資料] 興味を持った人に配布する論文や、説明の際に示す研究の成果物・サンプルなどを用意する

3. ポスター作成の注意点

<離れた場所からでも関心を引く>

パッと見て興味を持ってもらうことが大切です

- ・ タイトルや見出しの文字を大きくする
[文字ポイント数の目安:A0 サイズ(118.9×84.1cm)の場合]
タイトル 100/発表者名 55/見出し 60
- ・ 簡潔で、内容がよく分かるタイトルをつける
- ・ 全体の流れがすぐ分かるようにレイアウトする
- ・ 視覚に訴える図や表などを取り入れる

<内容が伝わる>

近づいて読む人の理解を促進するための工夫が大切です

- ・ 必要な要素が揃っている
(「概要」「序論」「方法」「結果」「考察」「結論」「参考文献」など)
- ・ 要素ごとに見出しをつける
- ・ 読む順番を分かりやすくする
(番号をつける、縦列に配置するなど)
- ・ 文章は最低限にとどめ、箇条書きなどを取り入れる
- ・ 図や表には読み取るべき要点を付記する

<文字の書体・サイズや色使いなどにも気をつける>

読む人の立場で、見た目にも配慮しましょう

- ・ タイトル・見出しだけでなく、本文でも見やすい書体・サイズの文字を使用する
[文字ポイント数の目安:A0 サイズ(118.9×84.1cm)の場合]
40~60(全体の分量により調節する)
- ・ 行間を詰めすぎないようにし、適度に余白をとる
- ・ 色を使いすぎない



[コラム] 発表者は Welcome の雰囲気を

ポスター発表では、会場でのふるまいも重要です。参加者が質問しやすい雰囲気作り(挨拶や表情など)を心がけ、ポスターを読んでいる人がいたら、自分から話しかけてみましょう。

また、聴き手が多い場合は、一部の人への対応に時間を取りすぎることがないように注意してください。

ポスターの一例



※ ポスターの構成要素やレイアウト、図表タイトルの適切な位置などは、研究分野により異なります。担当の先生に確認しましょう。

先輩のポスターを見て学ぼう!

よいポスターを作成するためには、多くの作品を見ることも大切です。

13号館3階の廊下に掲示されている理学部の先輩のポスターを見たり、物理学科の卒業研究中間発表会(毎年10月中旬頃)に参加するなどして、よいと思った点を参考にしましょう。

